

景観形成基準チェックリスト

○建築物及び工作物 ※今回の行為で該当する項目について記入してください。

地域のシンボルとなる山稜及び河川の近傍地にあつては、主要な眺望点からの眺望を阻害したり、眺められる稜線を遮ったりするなどして背景との調和を乱すことのないよう、位置、規模及び形態意匠に配慮すること。			
留意点	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
地域のシンボルとなる山岳や連続する山並みを眺望できる主要な眺望点からの山岳への眺望や山並みのスカイラインに十分配慮しているか。	Yes・No ■ □	行為地の近くに鳥海山への主要な眺望点があることから、眺望点からの眺望に出来るだけ影響を及ぼさないよう、建物の建築場所に配慮した。	適・否
地域のシンボルとなる河川を眺望できる主要な眺望点からの眺望に十分配慮した形態意匠としているか。	Yes・No ■ □	眺望点から眺望したときに違和感を生じさせないよう、建物のデザインについて周辺の景観に溶け込むデザインとした。	適・否
計画地内の優れた眺望や良好な俯瞰景を得られる地点に、展望を活かした施設などを計画的に配置しているか。	Yes・No ■ □	行為地内に庄内平野を良く見渡せるポイントがあり、そこに展望スペースを兼ねた休憩所を設置した。	適・否
主要な眺望点から直接的に見えにくい場所に配置しているか。	Yes・No ■ □	行為地の位置的条件から、直接的に見えない場所への建物の配置は困難だったが、出来るだけ眺望点から見えないよう、行為地内及び周囲に緑地を設けた。	適・否
送電ルートが尾根筋を超える場合には、スカイラインへの影響をなるべく小さく抑えるよう配慮しているか。	Yes・No ■ □	送電ルートが尾根筋を超える箇所においては、送電鉄塔が出来るだけスカイラインを越えないよう設置位置に配慮した。	適・否
送電鉄塔や電線の設置にあつては、主要な眺望点からのシンボルとなる山並みなどへの眺望に十分配慮した路線の設定としているか。	Yes・No ■ □	送電ルートの選定に当たっては、事前に複数のルートについてフォトモンタージュなどにより景観への影響を予測するなどして検討を行い、最も影響の少ないルートとした。	適・否

市街地にあつては、周辺の建築物や工作物との連続性を考慮して、まちなみと調和した高さ、位置及び形態意匠とするよう配慮すること。			
留意点	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
商業施設の大規模な看板は、煩雑な印象を与えないよう建物本体と一体的にすっきりとデザインされているか。	Yes・No ■ □	屋上広告塔の設置をやめ、建物デザインと一体感を持たせるよう、看板の地色を壁面と同色とするとともに、箱文字表示とし、建物と調和したデザインに配慮した。	適・否
道路沿道の工作物は、煩雑な印象を与えないような位置、規模及び形態意匠となっているか。	Yes・No ■ □	屋外広告塔の高さを出来るだけ抑え、周辺景観への影響を軽減するよう配慮した。	適・否
歴史的・伝統的なまちなみを有する地域では、地域の素材を用いるなどして既存のまちなみに調和するよう配慮しているか。	Yes・No ■ □	地域の伝統的な建築に多く見られる切妻の黒瓦屋根とし、周囲のまちなみへの調和に配慮した。	適・否

景観形成基準チェックリスト

良好な田園景観を有する地域では、周辺景観から突出しないよう位置、規模及び形態意匠に配慮すること。			
留意点	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
農地内や市街地外などに建てられる建築物や工作物は、田園などの平坦地の中では目立って見えやすくなるため、可能な限り高さを抑えるとともに、周辺に高木植栽を施すことにより見えの面積を低減するよう配慮しているか。	Yes・No ■ □	建物の高さを低く抑えるとともに、敷地周囲に高木の植栽を施した。	適・否

良好な自然景観を有する地域では、これと調和するよう位置、規模及び形態意匠に配慮すること。			
留意点	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
林地などにおいては、周辺から浮き上がって見えないうに、位置、規模及び形態意匠に配慮しているか。	Yes・No ■ □	周辺の自然景観に調和するよう、建物の規模を出来るだけ抑えるとともに、デザイン的にも周辺景観に溶け込むよう配慮した。	適・否

建築物又は工作物が全体としてまとまりのある形態意匠となるよう配慮すること。			
留意点	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
屋上工作物や屋外工作物などの附属施設は、建物本体の屋根や壁面の延長などにより、連続した壁面として認識させ、煩雑な印象を与えないよう配慮しているか。	Yes・No ■ □	屋上設備が外部から直接見えないように、建物の外観と一体的なデザインの壁面で囲った。	適・否
地域の名物や特産品などをモチーフにした即物的装飾を施す場合は、それがそこにある必然性や周辺の景観に及ぼす影響をよく考えることが大切である。単に「地域でよく知られているものだから」といった理由だけで設置してしまうと、周辺景観との調和を乱すことにもつながりかねない。建築物や工作物に施す装飾については周辺景観との調和を第一に考えているか。	Yes・No ■ □	過度な建築物への装飾は行わず、あくまで周辺景観との調和を第一に考えた。	適・否

景観形成基準チェックリスト

周辺景観と調和する色彩を用いるよう配慮すること。			
留意点	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
建築物や工作物が周囲の自然性の高い景観の中で浮き上がって見えないように、明度、彩度を低くするよう配慮しているか。	Yes・No ■ □	建物周辺の山の緑と調和するように、茶系の低彩度の外観とした。	適・否
複数の建築物や工作物から構成されるまちなみ景観や沿道景観をまとまりのあるものとするため、個々の建築物及び工作物の明度、彩度を低くするよう配慮しているか。	Yes・No ■ □	良好なまちなみ景観形成を図るため、全体の統一性と秩序を保つことを目指し、個々の建築物の外壁の色彩の明度、彩度を同一又は類似の範囲内に設定するとともに、明度、彩度自体を低くした。	適・否
コンクリート構造物は一般に自然的空間の色彩より明度が高いため、周囲の景観から浮き上がって見えないような仕上げとするよう配慮しているか。	Yes・No ■ □	表面仕上げを工夫し、経年変化で風格や味わいの増した建物の外観を再現、周囲の景観から浮き上がって見えないよう配慮した。	適・否

多くの色彩やアクセント色を使用する場合は、その数、色彩相互の調和及びバランスに配慮すること。			
留意点	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
アクセント色は、施設の機能上どうしても必要な場合のみなど、限定的に用いられているか。	Yes・No ■ □	アクセント色として原色(赤、黄)を使っているが、1階部分の小面積にとどめた。	適・否
コーポレートカラーは、建物のエントランス部分のみなど限定的に用いられているか。	Yes・No ■ □	コーポレートカラーは、建物の入口部分と屋外工作物(広告塔)に使用しているが、オリジナルの色より明度・彩度を抑え、周囲の景観に配慮した。	適・否

一つの敷地に複数の建築物、工作物、屋外駐車場を設ける場合は、施設間の調和及び施設全体と周辺景観との調和に配慮すること。			
留意点	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
各建築物の形態に規則性を与えるよう配慮されているか。	Yes・No ■ □	各建築物の基調色や屋根の形状を揃え、全体として一体感を持たせるようにした。	適・否
建物の高さを揃える、徐々に高さを変化させるなど、高さに一定の規則性を与えるよう配慮されているか。	Yes・No ■ □	周辺の建物と合わせた高さとし、高さに一定の規則性を持たせた。	適・否

景観形成基準チェックリスト

○開発行為及び土地の形質の変更

基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
行為後の状態が、周辺の景観との調和が損なわれることがないよう配慮すること。	Yes・No ■ □	周辺の住宅地の区画規格に合わせた区画割とした。 擁壁の手前に植栽を施し、直接見えないよう配慮した。	適・否
現況の地形を可能な限り活かし、長大な法面や擁壁が生じないように配慮すること。	Yes・No ■ □	なるべく法面が発生しないように土地の形状を活かした造成とした。 擁壁を2段に分けて設置した。	適・否
樹木の伐採は必要最小限にとどめ、地域に育成する樹木による緑化等に配慮すること。	Yes・No ■ □	周辺の樹木を活かした造成計画とした。 既存の樹木を計画に取り込んだ。	適・否

○土石の採取及び鉱物の掘採

基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
行為後の状態が、周辺の景観との調和が損なわれることがないよう配慮すること。	Yes・No ■ □	採取が完了した所から郷土種による緑化の計画とした。 採取地周辺に塀を設置するとともに植栽も施し、周辺から見えにくい計画とした。	適・否
長大な法面が生じないように配慮し、緑化に配慮すること。	Yes・No ■ □	法面を緩やかにするとともに、擁壁は2段に分け、手前に植栽を施した。	適・否
行為後は、地域に育成する樹木による緑化等による景観の復元に配慮すること。	Yes・No ■ □	周辺の山々と連続性のある植栽を行い、原風景の復元に努める計画とした。	適・否

○物件の堆積

基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
集積等の面積及び高さは必要最小限にするとともに、整然とした堆積とすること。	Yes・No ■ □	敷地を広くとり高さを抑え、高くなる期間が長期に渡らないよう計画的にストックする計画とした。 種類ごとに分別し、整然とした堆積を行う計画とした。	適・否
道路や公共の場から容易に見えない位置とするか、敷地外周部に植栽等を施し周辺の景観に配慮すること。	Yes・No ■ □	堆積場所周辺に塀を設置し、その塀の手前に植栽を施し、堆積物件を見えにくくした。 道路から離れた場所に堆積する計画とし、出入口は最小になるように計画した。	適・否

景観形成基準チェックリスト

○景観形成重点地域（山居倉庫周辺地区：A地区）

建築物				
項目	基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
高さ	12mまでとする。	Yes・No ■ □	高さを〇〇mとした。	適・否
外観、意匠	山居倉庫、本間家旧本邸、旧鍛屋などの歴史的な雰囲気と調和した、和風の落ち着いた外観、意匠に配慮する。	Yes・No ■ □	屋根に瓦、外壁に木目模様の素材を使用した。	適・否
屋根	勾配屋根（切妻、寄棟等）に黒系の和瓦を使用するよう配慮する。	Yes・No ■ □	切妻屋根とし、黒い和瓦を使用した。	適・否
外壁の色彩、仕上げ材	高彩度の色は使用しない。 漆喰壁、土壁、砂壁状吹付け材、板張りその他これらに類するもの又は同等の質感のある素材で仕上げるよう配慮する。	Yes・No ■ □	漆喰壁を基調とした外観にした。 木目模様の茶色い外壁材を使用した。	適・否
建具等	和風の外観との調和に配慮する。	Yes・No ■ □	和風デザインの建具を設置した。	適・否

工作物等				
項目	基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
門、塀等	塀を設置する場合はコンクリートブロック塀を避け、板塀や生垣の設置に配慮する。	Yes・No ■ □	敷地周辺に生垣を設置した。	適・否
植栽	敷地内の樹木等を保全し、植栽の適切な維持管理に配慮する。	Yes・No ■ □	空き地の除草を行い、花壇を設置した。	適・否
設備機器等	空調の室外機やガスボンベ等は、道路（山居倉庫）から見えない場所に設置するか、目隠し等の修景を施すよう配慮する。	Yes・No ■ □	通りから見えない場所に室外機を設置した。 室外機を木の格子で覆った。	適・否
自動販売機	高彩度の色は使用せず落ち着いた色彩を使用したり、目隠し等の修景を施すよう配慮する。	Yes・No ■ □	周辺から突出したものにならないよう彩度を抑えた。 和風の雰囲気と調和する素材で周囲を覆った。	適・否
鉄塔等	周囲の景観への影響を軽減するため、設置場所や色彩、高さに配慮する。	Yes・No ■ □	高さを抑え、通りから見えにくい場所に設置した。	適・否
駐車場等	板塀や生垣の設置に配慮する。	Yes・No ■ □	周辺に板塀を設置し、車が通りから直接見えないよう配慮した。	適・否
広告物	高彩度の色は使用せず、通りの雰囲気との調和に配慮する。	Yes・No ■ □	彩度を抑え、和風の雰囲気と調和する素材を使用した。	適・否

景観形成基準チェックリスト

○景観形成重点地域（山居倉庫周辺地区：B地区）

建築物				
項目	基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
建築物の 高さ	20mまでとする。	Yes・No ■ □	高さを〇〇mとした。	適・否
外観、意匠	山居倉庫、本間家旧本邸、旧鍛屋などの歴史的な雰囲気と調和した、和風の落ち着いた外観、意匠に配慮する。	Yes・No ■ □	屋根に瓦、外壁に木目模様の素材を使用した。	適・否
屋根	勾配屋根(切妻、寄棟等)に黒系の和瓦が望ましい。	Yes・No ■ □	切妻屋根とし、黒い和瓦を使用した。	適・否
外壁の色彩、 仕上げ材	高彩度の色は使用しない。	Yes・No ■ □	彩度の低い色を使用した。	適・否
建具等	和風の外観との調和に配慮する。	Yes・No ■ □	和風デザインの建具を設置した。	適・否

工作物等				
項目	基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
植栽	敷地内の樹木等を保全し、植栽の適切な維持管理に配慮する。	Yes・No ■ □	空き地の除草を行い、花壇を設置した。	適・否
設備機器等	空調の室外機やガスボンベ等は、道路(山居倉庫)から見えない場所に設置するか、目隠し等の修景を施すよう配慮する。	Yes・No ■ □	通りから見えない場所に室外機を設置した。 室外機を木の格子で覆った。	適・否
自動販売機	高彩度の色は使用せず落ち着いた色彩を使用したり、目隠し等の修景を施すよう配慮する。	Yes・No ■ □	周辺から突出したものにならないよう彩度を抑えた。 和風の雰囲気と調和する素材で周囲を覆った。	適・否
鉄塔等	周囲の景観への影響を軽減するため、設置場所や色彩、高さに配慮する。	Yes・No ■ □	高さを抑え、通りから見えにくい場所に設置した。	適・否
駐車場等	板塀や生垣の設置に配慮する。	Yes・No ■ □	周辺に板塀を設置し、車が通りから直接見えないよう配慮した。	適・否
広告物	高彩度の色は使用せず、通りの雰囲気との調和に配慮する。	Yes・No ■ □	彩度を抑え、和風の雰囲気と調和する素材を使用した。	適・否

景観形成基準チェックリスト

○景観形成重点地域（日和山周辺地区）

建築物				
項目	基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
高さ	12mまでとする。	Yes・No ■ □	高さを〇〇mとした。	適・否
外観、意匠	町屋や料亭の雰囲気と調和した、和風の落ち着いた外観、意匠に配慮する。	Yes・No ■ □	屋根に瓦、外壁に木目模様の素材を使用した。	適・否
屋根	勾配屋根（切妻、寄棟等）に黒系の和瓦を使用するよう配慮する。	Yes・No ■ □	切妻屋根とし、黒い和瓦を使用した。	適・否
外壁の色彩、仕上げ材	高彩度の色は使用しない。 漆喰塗、土壁、砂壁状吹き付け材、板張りその他これらに類するもの又は同等の質感のある素材で仕上げるよう配慮する。	Yes・No ■ □	漆喰壁を基調とした外観にした。 木目模様の茶色い外壁材を使用した。	適・否
建具等	和風の外観との調和に配慮する。	Yes・No ■ □	和風デザインの建具を設置した。	適・否

工作物等				
項目	基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
門、塀等	塀を設置する場合は、コンクリートブロック塀を避け、板塀や土塀、生垣の設置に配慮する。	Yes・No ■ □	敷地周辺に生垣を設置した。	適・否
植栽	敷地内の樹木等を保全し、植栽の適切な維持管理に配慮する。	Yes・No ■ □	空き地の除草を行い、花壇を設置した。	適・否
設備機器等	空調の室外機やガスボンベ等は、道路から見えない場所に設置するか、目隠し等の修景を施すよう配慮する。	Yes・No ■ □	通りから見えない場所に室外機を設置した。 室外機を木の格子で覆った。	適・否
自動販売機	高彩度の色は使用せず落ち着いた色彩を使用したり、目隠し等の修景を施すよう配慮する。	Yes・No ■ □	周辺から突出したものにならないよう彩度を抑えた。 和風の雰囲気と調和する素材で周囲を覆った。	適・否
鉄塔等	周囲の景観への影響を軽減するため、設置する場所や色彩、高さに配慮する。	Yes・No ■ □	高さを抑え、通りから見えない場所に設置した。	適・否
駐車場等	板塀や土塀、生垣の設置に配慮する。	Yes・No ■ □	周辺に板塀を設置し、通りから直接見えないよう配慮した。	適・否
広告物	高彩度の色は使用せず、通りの雰囲気との調和に配慮する。	Yes・No ■ □	彩度を抑え、和風の雰囲気と調和する素材を使用した。	適・否

景観形成基準チェックリスト

○景観形成重点地域（松山歴史公園周辺地区）

建築物				
項目	基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
構造	木造を原則とする。(鉄筋コンクリート造・鉄骨造とする場合は、外観を伝統的な和風建築様式とする。)	Yes・No ■ □	木造の和風建築とした。	適・否
意匠	伝統的な和風建築の意匠とし、外装壁面や開口部等は建築物と調和したものとする。	Yes・No ■ □	屋根に瓦、外壁に木目模様の素材を使用した。	適・否
高さ	12mまでとする。 昔ながらの集落としての良好な住環境を維持するため、建築物の高さは低く抑えるよう配慮する。なお通りに面する二階の軒高は、通りの伝統的な町家建築物と合わせるよう配慮する。	Yes・No ■ □	高さを〇〇mとした。	適・否
屋根	勾配屋根、瓦葺き(黒系の和瓦)を原則とする。屋根の方向は、周囲の建築物に合わせるよう配慮する。	Yes・No ■ □	切妻屋根に黒色の和瓦を使用した。	適・否
外壁	仕上げについては漆喰壁に下見板張りという伝統的な建築様式又は漆喰塗り、板張り、吹き付けなどを基本とする。	Yes・No ■ □	漆喰壁に下見板張りの外観とした。	適・否

工作物等				
項目	基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
塀など	通りに面して建築物がないところでは、板塀、土塀又は生垣を設置する。ブロック塀は板塀又は土塀に見えるように修景を施す。板塀・土塀を設置する場合、またブロック塀を板塀又は土塀に見えるように修景を施す場合の色彩は、無彩色又は落ち着いた茶系色を基調とする。	Yes・No ■ □	最上部に瓦のある土塀を設置した。	適・否
広告物(看板)	広告物の素材は、歴史的な雰囲気と調和するよう、木等の落ち着いた素材感を持つものを使用するよう配慮する。広告物の設置場所は原則として一階部分のみとし、二階より上の部分(屋上含む)には設置しないよう配慮する。建植看板、壁面から突出する看板は原則として設置しないものとする。使用色は高彩度を避け、落ち着いた色彩を基調とする。	Yes・No ■ □	1階の壁面にのみ、看板を設置した。	適・否
設備機器	空調の室外機やガスボンベ等は、道路から見えない場所に設置するか、目隠し等の修景を施すよう配慮する。	Yes・No ■ □	通りから見えない場所に室外機を設置した。 室外機を木の格子で覆った。	適・否
自動販売機	高彩度の色は使用せず落ち着いた色彩を使用したり、周囲を板材で覆うなどの修景を施すよう配慮する。	Yes・No ■ □	周辺から突出したものにならないよう彩度を抑えた。和風の雰囲気と調和する素材で周囲を覆った。	適・否
駐車場	歴史的な雰囲気と緑豊かな周辺環境と調和するよう生垣の設置に配慮する。	Yes・No ■ □	周囲に生垣を設置した。	適・否

その他				
項目	基準	チェック	具体的な配慮・工夫の内容	適否
色彩	高彩度の色を使用せず、周辺のまちなみや自然環境との調和に配慮する。 広告物や屋外の設備機器については、同系色で建築物との調和に配慮する。	Yes・No ■ □	漆喰の白、板張りの茶色を基調とする住宅とした。	適・否
植栽	敷地内では生垣や植栽などによる緑化、適切な樹木の維持管理に配慮する。	Yes・No ■ □	空き地の除草を行い、花壇を設置した。	適・否